

第57期 中間事業報告書

2003年4月1日から2003年9月30日まで



しょうげき～衝撃～ *Show Get-key*

オートバックスセブン株主通信 Vol. 5



ごあいさつ 1



トピック 4



なぜなにオートバックスグループ
● vol. 3 車検・整備事業 5



カー用品情報
● タイヤの基礎知識 7



ARTA活動報告 8

財務報告 9

株式情報 15

会社情報 16

株主の皆さまへ
アンケートのお願い 17

オートバックスグループ
ホームページのご紹介 18

「ガライヤ開発物語」は、お休みします。

ごあいさつ

オートバックスグループは、当中間期も「トータルカーライフサポート業」の実現に向け、着実に進化しています。

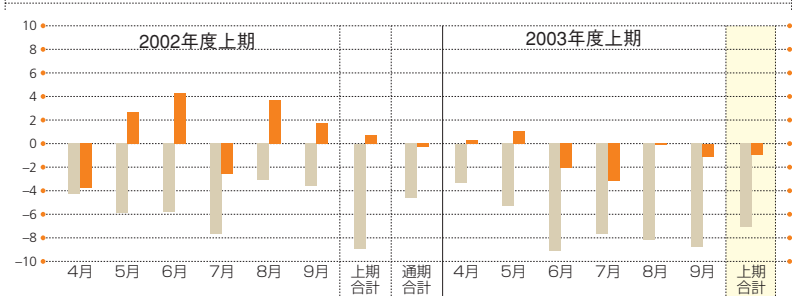
株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここにオートバックスセブン株主通信「Show Get-key」Vol. 5をお届けいたします。本誌では、2004年3月期・中間期の業績を報告させていただくとともに、「トータルカーライフサポート業」の実現に向け着実に進化しつつある、オートバックスグループの最新動向をお伝えいたします。

厳しい経営環境の中で、中・長期的な成長基盤づくりに注力

当中間期(2003年4月～9月)の連結業績は、数字の面では減収減益と厳しい結果となりましたが、その一方で将来への成長基盤づくりに向けた施策を積極的に展開し、成果を収めることができました。

オートバックスグループ店舗とAPARA会員店舗の売上伸長率比較 (%)



■ APARA既存店 (オートバックス除く)
■ オートバックスグループ既存店 (スーパーオートバックス、オートバックス、オートハローズ)

自動車用品小売業協会 (APARA) 売上報告企業12社 (2003年9月末現在)

期中の事業環境を振り返りますと、自動車のアフターマーケット業界は、冷夏と長雨の影響で行楽・ドライブ関連需要が盛り上がりせず、季節商品等の販売不振が市場全体を冷え込ませました。また社会保険料の総報酬制への移行により、賞与の手取額が減少したことも逆風となりました。このような環境下、オートバックスグループは「トータルカーライフサポート業」への進化による成長を果たすべく、既存店の再編やスーパーオートバックスの出店加速、新ビットメニューの開発、車販売体制の強化に注力し、業界内でのシェアアップを実現しました。

連結売上高については、車検・整備など提供メニューの強化で、サービス関連の売上は伸びを見せたものの、カー用品販売は子会社店舗の活性化が遅れ、全体としては前年同期を下回りました。さらに、販売費および一般管理費の増加が、一時的には利益を圧迫する要因となりましたが、これらの費用や投資はいずれもオートバックスグループが、中・長期的に成長を持続していく上で欠くことのできないものであると考えています。

なお、期中の2003年9月に、2023年を満期とするユーロ円建の転換社債100億円を発行し、事業活動を円滑に進めるための資金を調達しています。

加速する「トータルカーライフサポート業」実現への事業戦略

現在オートバックスグループでは、「トータルカーライフサポート業」の実現に向け、店舗網の再編、サービスメニューの拡大に努めています。最近の成果や今後の計画は次の通りです。

スーパーオートバックスの出店加速で店舗競争力を強化

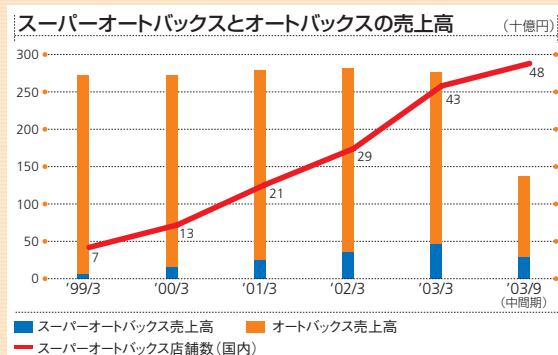
オートバックスグループでは、スーパーオートバックスの出店拡大と同時に、オートバックス、オートバックス走り屋天国セコハン市場、オートバックス・エクスプレスなどさま



ざまな業態とのネットワーク強化を推進し、グループとしての競争力強化を図っています。当中間期中においてスーパーオートバックスは、「京都ワンダーシティ」など計5店舗を出店しました。これにより、2003年9月末時点の店舗数は50(海外2店舗を含む)となり、目標としている100店舗体制への折り返し点に達しています。

幅広い品揃えとサービスの提供を特徴とする大型店舗スーパーオートバックスでは、テナントとして異業種を入れるなどの進化を続けており、従来のオートバックス店舗よりも広い顧客層の取り込みに成功しています。また集客力のあるスーパーオートバックスの売上は、ほぼ全店において順調に推移しており、弊社業績を牽引する大きな力になってきています。

(スーパーオートバックス京都ワンダーシティについては本誌4ページで紹介しています)



車検・整備市場への本格的な取り組みをスタート

車検・整備事業は、お客さまのカーライフをトータルにサポートするための事業の一つで、近年オートバックスグループが最も注力している領域です。同サービス事業は、それ自体が収益面で業績に貢献するだけでなく、カー用品販売への波及効果も高いことから、弊社グループが将来成長していく上での、牽引力のひとつになると期待しています。

現在オートバックスグループ各店舗では、お客さまに安心かつスピーディーな車検・整備サービスが提供できるよう、指定認証工場資格の取得を急ぐと共に、他とは一味違ったサービスメニューの開発でお客さまにアピールしています。好評を博している「早・技(はやわざ)車検」のほかに、この12月からは、「早・技(はやわざ)板金」も本格的にスタートさせます。車の傷やヘコミの補修だけではなく、ボディのカスタマイズニーズにも対応するなど、取り組みを拡大していきます。

(車検・整備事業について、本誌5、6ページに特集しています。)

トータルサービスで確実な成長を目指す車販売事業

車販売事業においては、オートバックスグループ各店舗に、車販売コーナー「オートバックス・カーズ」を設け、お客さまが専用端末を使ってご希望の車を検索できるシステムを構築しています。今後は店舗への端末設置を推進すると共に、取り扱う新車・中古車の知識を十分に持った人材の育成を強化していく方針です。またお客さまのお好みに合わせたカスタマイズや購入後のメンテナンスのご案内など、オートバックスグループの総力を結集して、トータルサービスを提供していきます。

カー用品市場での市場シェア拡大に向けて

オートバックスグループでは、前述の通り「トータルカーライフサポート業」の実現に向けた取り組みを進める中で、コアビジネスであるカー用品販売事業の強化にも積極的に取り組んでいます。特に今下半期にかけては、タイヤ、オイル、バッテリーの主力3商品の販売促進を強化していく考えです。これらの商品は製品の高性能化により、耐用期間が延びており、市場規模は縮小傾向にあります。これに対して、車両の無料点検による積極的な啓蒙活動で販売機会を創造し、また圧倒的な品揃えと選びやすい売り場づくりで、前年を上回る販売実績を上げたいと考えています。お客さまの立場に立った接客応対で冬商戦を乗り切り、継続的な市場シェア拡大を実現します。

オートバックスグループは、「トータルカーライフサポート業」への変革で、「車好きのユートピアを創ること」と「世界中のドライバーを車好きに変えること」の二つの大義を実現するため、日々進化しています。皆さまには、今後も変わらぬご支援と、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2003年11月

住野 公一

代表取締役 CEO

2003年9月18日 「スーパーオートバックス京都ワンダーシティ」オープン

オートバックスグループは、1997年より展開を開始した「スーパーオートバックス」の国内49店舗目となる「スーパーオートバックス京都ワンダーシティ」を、9月18日京都市内にオープンしました。同店はオートバックスグループの中でも最大規模の4階建て・総売場面積875坪で、旗艦店舗の「スーパーオートバックス Type I」としては、全国で6店舗目、京都府内では初めての出店となります。豊富な品揃え・サービスと充実した設備で、スーパーオートバックスのコンセプトである「最高の商品と最高のサービスを、最高の設備と最高の技術で提供する」を、これまでのどの店舗よりも体感していただけの店舗になりました。

2階から3階が吹き抜けとなった売場には、新車とカスタムカー販売の「カーズショー」が中央に配置され、「車」を商品として取り扱っていることをアピール。また壁際にタイヤホイールタワーがそびえ、明るい色彩の内装と併せて、お客さまの「ワクワク・ドキドキ感」を演出しています。車に乗ったままオイル交換ができるドライブスルーオイルピットの設置、テナントとしてヘアサロン「アービング」、スペシャルティ・カフェ「シアトルズベストコーヒー」を擁するなど、グループ店舗初の試みも多く行っています。この他にも、小物・雑貨を集めたコーナー「オレンジカウンティフィールド」、軽飲食コーナー「ルッカーズ」、お勧めのドライブミュージックを提案するCDコーナー「タワーサテライト」、室内遊具のあるキッズプレイランドなども併設しており、ご家族連れや女性の方でも楽しく過ごせる店舗となっています。

店舗1階には、コの字型に25台のピットを配し、中央にはピットを見渡せる40坪の大型ウェイトングルーム、ピット脇には車検受付カウンターを設置しました。また最新カーナビから高級オーディオまで充実した品揃えのカーエレクトロニクスコーナーなどは売り場にピットを併設し、お客さまに取り付け作業風景を確認頂きながらアドバイスが出来る様にしました。

詳細な情報は、スーパーオートバックスのWebサイトをご覧ください。
<http://www.superautobacs.com/>



「ルッカーズ」



「オレンジカウンティフィールド」



「アービング」

なぜなに

オートバックスグループ

Vol. 3 車検・整備事業

人気タレントのユースケ・サンタマリアさんが出演する弊社のテレビコマーシャル“まかせて安心、オートバックスの車検”は、ご覧いただいたでしょうか？ 今回のなぜなにオートバックスグループでは、なぜ現在「車検・整備」に注力しているのか、その理由をご説明します。

トータルカーライフサポートの実現に向け、巨大市場にチャレンジする。

10兆円を超えるといわれる日本の自動車アフターマーケットの中で、「車検・整備」は、「カー用品」に匹敵する約2.4兆円の市場規模があると言われています。従来「車検・整備」は、街のディーラーや整備工場の独壇場でしたが、近年の規制緩和を背景に、ビジネスチャンスが拡大しています。加えて、「トータルカーライフサポート業」への進化を目指す弊社にとって、クルマのライフサイクルの要となる「車検・整備」のタイミングでお客さまと接点を持つことは、カー用品販売事業、車販売事業への波及効果の面からも、極めて重要な意味を持っています。



「顧客対応」から「個客対応」への転換で、ビジネスチャンスをもものにする。

お客さまのカーライフをトータルにサポートするためには、車両記録を個客データとして有効活用し、タイヤやオイルの交換、定期点検の時期などをタイムリーにお知らせすることが重要となります。これにより、お客さまに来店頻度を高めていただき、カー用品販売やピットサービスの売上拡大につなげていくというのが弊社の基本戦略です。そのため弊社

では、店頭での会員情報とピットでの車両整備情報を有機的にリンクさせた新たな情報システムの構築を進めており、間もなく稼働する予定です。従来以上にきめの細かいカーライフサポートサービスの提供に向け、「顧客対応」から「個客対応」への発想の転換が進んでいます。

指定工場資格取得店舗の拡大で、シェアUPを目指す。

カーオーナーにとって、愛車の「車検・整備」を依頼する工場は、いわばホームドクターのようなもの。車検や定期点検に加え、日常のメンテナンスや修理までが、自宅近くで簡単・迅速にできれば、こんな便利なことはありません。



全国519店におよぶ弊社グループ店舗のうち、現在125店が、車検・整備を受付から検査まで自店舗で完結できる「指定工場資格取得店舗」となっています。現在、この店舗を

着実に増やしており、今期中に170店舗まで拡大する計画です。同時に板金・塗装、洗車、ポリマー加工などを充実させて、将来的には全店舗において安心かつスピーディーな「車検・整備」を中心としたトータルメンテナンスサービスを提供できる体制を作り上げる方針です。

認証工場の状況

	2003年 9月末現在	2004年 3月末計画
普通認証工場取得店舗	268店舗	280店舗
(内)指定工場取得店舗	125店舗	170店舗

「普通認証工場」... 一定の要件を備え、自動車分解・整備ができる工場

「指定工場」..... 国の定める要件を備え、国に代わって自動車検査ができる工場

オートボックス流の差別化サービスで顧客基盤を強化する。

オートボックスグループ店舗でお買い上げくださるお客さまは、年間延べ約4,100万人。加えて約640万人のカード会員組織があります。しかし、「車検・整備」事業における顧客ターゲットは、これにとどまりません。過去にオートボックスグループ店舗の利用経験はなくても、従来の車検に満足していないカーオーナーがたくさん存在するからです。弊社では、お客さま立ち会いのもとでの安心見積りシステムや、60分で完了する「早・技(はやわざ)車検」など、顧客志向の先進サービスを導入し、他社との差別化を進めています。今後も、「車検ならオートボックスグループ」との評価を確立すべく、顧客満足度を高めるサービスの提供に努めていきます。

(裏表紙に、車検の広告を掲載しています。)

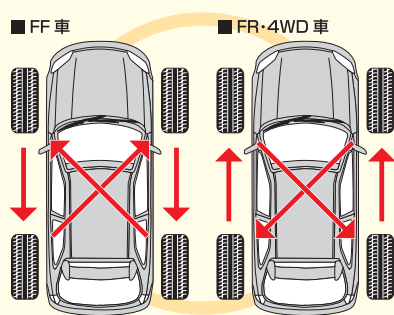
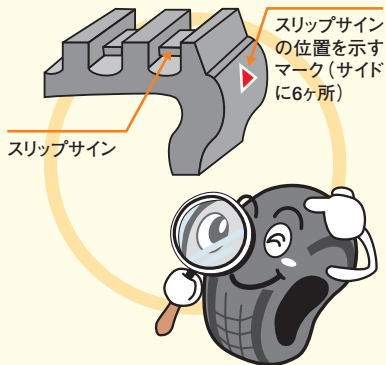
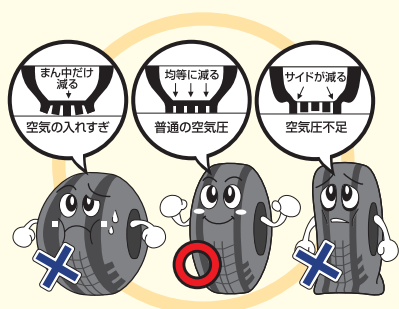


エグゼクティブ・オフィサー
車検ビジネス推進、
サービス技術開発担当

澤田 和良

タイヤは、「走る・曲がる・止まる」という基本的な機能のほかに、車の重量を担い、路面からのショックを吸収して、「ドライバーの命」をハガキ4枚分ほどというわずかな接地面で支えています。今回のカー用品情報では、皆さんにぜひとも知っていただきたいタイヤの基礎知識をご紹介します。

これだけは知っておきたいタイヤの基礎知識



■ 空気圧は適正？

空気圧の過不足は、タイヤの損傷を招き、車両の安全走行に悪影響を及ぼします!!だから、いつも適正な空気圧を保つよう心がけましょう。給油の際は、必ず空気圧を点検する習慣もつけましょう。

■ 溝の深さは十分？

残り溝が1.6mmになると、スリップサインが表面に現れます。溝の少ないタイヤは、制動性能が著しく低下し、重大な事故の原因にもなります。サインが出る前に、早めに交換を行いましょう。

■ タイヤローテーション

タイヤを長持ちさせるために、定期的なタイヤの位置交換を行いましょう。ローテーションを怠ると、異常磨耗が生じ、異常振動、乗り心地悪化、タイヤ騒音、タイヤ寿命短縮などの原因になります。

※上記イラストは一例であり、タイヤの溝パターンやサイズなどによってローテーションの手法が異なります。

タイヤについて不明な点や疑問点がございましたら、遠慮なくオートバックグループ各店舗スタッフにご相談ください。お客さまのニーズやお車の用途・特性にピッタリなタイヤをご提案させていただきます。

ARTA活動報告

毎号お届けしているオートバックスのモータースポーツ・プロジェクト「ARTA」活動報告。今回は、モータースポーツ界の若き逸材の発掘・育成を目的に開催される「ARTA ジュニアカートサマースクール」と、店舗レベルで展開されるモータースポーツ活動への支援についてご紹介します。

未来の鈴木亜久里さんを目指して！

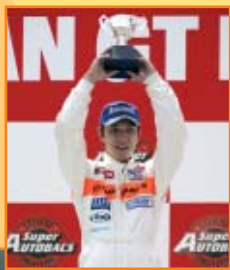
一流のレーシングドライバーが、実践レベルのドライビングテクニックを伝授

8月に開催された、「第4回ARTAジュニアカートサマースクール in ツインリンクもてぎ」には、11歳から16歳までの31名が参加。彼らは2日間にわたり、鈴木亜久里ARTA総監督をはじめ、第一線で活躍するレーシングドライバーから、ドライビングテクニックやマシンセッティング、そして

レースの駆け引きまで、トップレベルのノウハウを学びました。あの鈴木亜久里さんも、幼少期からカートレースで腕を磨いてきたことは有名な話。当スクールの卒業生から、未来のF1ドライバーが生まれるのも決して夢ではありません。

カートレース：パイプフレームに排気量100cc～125ccのエンジンを搭載したレーシングカートをサーキットで走らせるレース。運転免許証も不要で子供から大人まで、幅広い年齢層が楽しめるのが特徴。数多くのレーシングドライバーが、カートレースからキャリアをスタートさせている。

ARTA (Autobacs Racing Team Aguri) プロジェクト：世界に通用する日本人ドライバーの育成をスローガンに、オートバックスが支援するモータースポーツ活動。元F1ドライバーの鈴木亜久里さんを中心に、国内外の主要なレースに参戦しています。



店頭立つARTAドライバー

オートバックス・スタッフのモータースポーツ活動を支援

皆さんは、オートバックスの店頭で、全国のサーキットで活躍するレーシングドライバーがたくさんいることをご存知でしょうか。ARTAプロジェクトでは、オートバックスの各店舗レベルで展開されるモータースポーツ活動をさまざまな形で後方支援しています。ARTAのレーシングドライバーであり、同時に店舗スタッフでもある彼らは、レース参戦という実体験を通し「走りの楽しさ」や

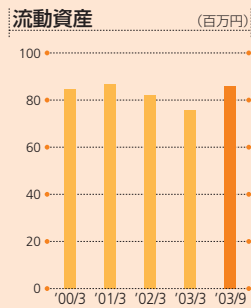
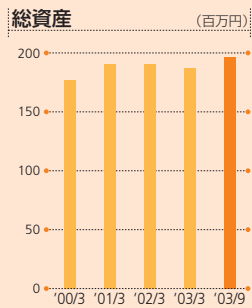
クルマという乗り物の「ワクワク・ドキドキ感」をお客さまにお伝えしています。また、レース経験から得た知識を生かし、パーツや装備の必要性、そして性能についても的確なアドバイスを行っています。ARTAによるモータースポーツ振興プロジェクトは、サーキット場に限らず販売の最前線でも展開されています。



連結貸借対照表

単位：百万円

	第56期 (平成15年3月31日現在)	第56期中間期 (平成14年9月30日現在)	第57期中間期 (平成15年9月30日現在)
(資産の部)			
流動資産	75,828	79,754	86,035
現金及び預金	23,681	31,879	33,486
受取手形及び売掛金	12,272	10,862	10,059
有価証券	5,721	3,100	6,302
たな卸資産	17,549	18,528	19,854
繰延税金資産	2,240	2,599	2,545
未収入金	13,302	10,972	12,003
その他	3,159	3,701	3,674
貸倒引当金	△2,100	△1,890	△1,890
固定資産	111,310	109,231	111,013
有形固定資産	59,463	55,647	62,065
建物及び構築物	26,370	22,418	27,289
土地	25,014	25,011	25,981
その他	8,079	8,216	8,794
無形固定資産	2,795	3,150	2,837
投資その他の資産	49,051	50,433	46,110
投資有価証券	16,128	17,485	13,858
長期貸付金及び長期差入保証金	28,990	30,128	28,809
繰延税金資産	3,182	2,841	2,917
その他	2,069	2,027	1,739
貸倒引当金	△1,319	△2,049	△1,214
資産合計	187,138	188,986	197,048



資産

総資産は、主に現金及び預金とたな卸資産が増加したことにより、前期末比99億10百万円増の1,970億48百万円(同5.3%増)となりました。

現金及び預金

転換社債型新株予約権付社債100億円の発行により、前期末比98億4百万円増加しました。

たな卸資産

スーパーオートバックスおよびオートバックス走り屋天国セコハン市場の出店と、冬商戦用の商品仕入れによって在庫が一時的に増えたため、前期末比23億4百万円増加しました。

土地

連結対象法人が増えたことにより、前期末比967百万円増加しました。

投資有価証券

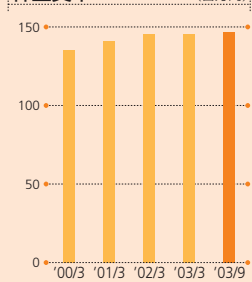
保有していた公社債の償還があったため、前期末比22億70百万円減少しました。

- 注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額34,064百万円
 2. 1株当たり当期純利益49円24銭
 3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

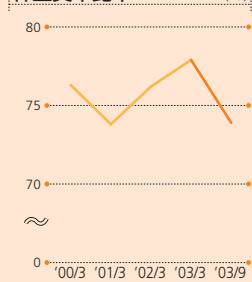
単位：百万円

	第56期 (平成15年3月31日現在)	第56期中間期 (平成14年9月30日現在)	第57期中間期 (平成15年9月30日現在)
(負債の部)			
流動負債	29,961	29,975	29,385
支払手形及び買掛金	13,109	12,587	13,454
短期借入金	3,111	5,047	2,275
未払法人税等	2,342	2,519	2,627
その他	11,397	9,820	11,028
固定負債	10,834	11,035	21,508
長期借入金	2,019	2,559	2,208
退職給付引当金	1,299	1,379	1,374
役員退職給与引当金	233	214	159
社債	—	—	8
転換社債型新株予約権付社債	—	—	10,000
その他	7,281	6,881	7,756
負債合計	40,796	41,010	50,893
(少数株主持分)			
少数株主持分	524	1,192	516
(資本の部)			
資本金	31,958	31,958	31,958
資本剰余金	32,241	31,719	32,241
利益剰余金	84,523	83,328	85,624
その他有価証券評価差額金	△126	△83	322
為替換算調整勘定	△179	△102	△120
自己株式	△2,601	△36	△4,388
資本合計	145,817	146,783	145,638
負債、少数株主持分及び資本合計	187,138	188,986	197,048

株主資本 (百万円)



株主資本比率 (%)



負債

主に9月に実施した転換社債型新株予約権付社債の発行により、前期末比100億97百万円増加し、508億93百万円(同24.7%増)となりました。

転換社債型新株予約権付社債

店舗配置の最適化を目指した店舗形態の転換や情報化への投資を主要な目的に、100億円を発行しました。

株主資本

利益剰余金が増加した一方で、自己株式を17億90百万円分新たに取得したことなどにより、前期末比1億79百万円減少して1,456億38百万円(同0.1%減)となりました。これにより、株主資本比率は前期末の77.9%から73.9%となりました。

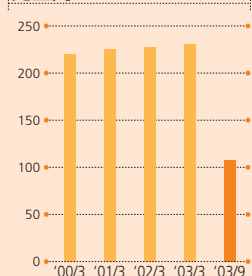
注) 資本の部の表示方法について
商法施行規則の改正に従いまして、当期から資本の部の表示方法を変更しています。

連結損益計算書

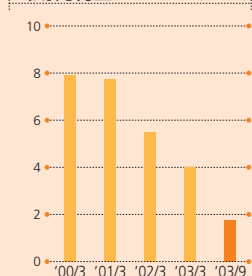
単位：百万円

	第56期 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)	第56期中間期 (自平成14年4月1日 至平成14年9月30日)	第57期中間期 (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日)
売上高	230,478	109,052	107,746
売上原価	163,457	77,408	75,575
販売費及び一般管理費	59,369	28,286	30,235
営業利益	7,652	3,356	1,935
営業外収益	6,210	2,655	3,359
営業外費用	3,589	1,352	1,441
経常利益	10,273	4,659	3,853
特別利益	480	255	225
特別損失	1,137	112	76
税金等調整前当期純利益	9,616	4,802	4,002
法人税、住民税及び事業税	5,392	2,629	2,593
法人税等調整額	300	67	△356
少数株主損失	80	△28	△8
中間(当期)純利益	4,003	2,133	1,773

売上高 (百万円)



当期純利益 (百万円)



売上高

既存店舗における車検の導入とオートボックス走り屋天国セコハン市場を中心とした新店の効果があった一方で、店舗の統廃合に伴うオートハローズを中心とした店舗の閉鎖と、店舗子会社を含めたグループ全体の売上の低迷によって落ち込み、前年同期比13億6百万円減収の1,077億46百万円(同1.2%減)となりました。

販売費及び一般管理費

重点事業である車検や車販売の認知に向けた広告宣伝活動や、フランチャイズ法人の統廃合に伴う子会社化に係る費用が発生したことにより、前年同期比19億49百万円増の302億35百万円(同6.8%増)となりました。

連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	第56期 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)	第56期中間期 (自平成14年4月1日 至平成14年9月30日)	第57期中間期 (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,925	2,858	5,039
税金等調整前中間(当期)純利益	9,616	4,802	4,002
減価償却費	5,394	2,545	2,802
売上債権の増減額(増加:△)	△130	3,546	3,582
たな卸資産の増減額	△842	△2,046	△2,112
その他	△1,319	△3,806	△1,301
小計	12,718	5,041	6,972
利息及び配当金の受取額	806	365	434
利息の支払額他	△154	△52	△57
法人税等の支払額	△5,445	△2,496	△2,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,002	△1,154	△1,543
有形及び無形固定資産の取得による支出	△10,331	△3,244	△4,498
有価証券・投資有価証券の取得・売却	△1,236	12	2,228
その他	3,565	2,078	726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,098	△2,744	6,411
短期借入金の増減額(減少:△)	△2,562	△365	△780
長期借入による収入	773	573	120
長期借入金の返済による支出	△3,467	△2,357	△516
社債の発行による収入	—	—	10,000
自己株式取得による支出	△2,575	—	△1,792
配当金の支払額	△1,349	△674	△659
その他	82	79	39
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	△42	7
現金及び現金同等物の減少額	△9,200	△1,082	9,915
現金及び現金同等物の期首残高	32,835	32,835	23,437
連結子会社除外に伴う現金及び現金同等物減少額	△197	△197	△12
現金及び現金同等物の期末残高	23,437	31,555	33,340

営業活動によるキャッシュフロー

営業活動から得られた資金は50億39百万円と前中間期と比べて76.3%増となりました。これは主に、法人税等の支払額23億9百万円およびたな卸資産の増加額21億12百万円、税金等調整前中間純利益40億2百万円の計上および売上債権の減少額35億82百万円があったことによります。

投資活動によるキャッシュフロー

主に投資有価証券の売却等による収入40億26百万円、ソフトウェアを除く有形および無形固定資産の取得による支出42億75百万円および投資有価証券の取得による支出17億97百万円があったことによります。

財務活動によるキャッシュフロー

主に自己株式の取得による支出17億92百万円及び借入金の減少11億76百万円、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入100億円があったことによります。

貸借対照表(単体)

単位：百万円

	第56期 (平成15年3月31日現在)	第56期中間期 (平成14年9月30日現在)	第57期中間期 (平成15年9月30日現在)
(資産の部)			
流動資産	72,986	75,251	82,542
現金及び預金	19,904	27,926	29,421
受取手形及び売掛金	15,604	13,817	13,441
有価証券	5,721	3,100	6,302
たな卸資産	8,092	9,266	9,277
繰延税金資産	1,503	1,536	1,687
未収入金	12,856	10,476	11,505
短期貸付金	10,472	9,719	11,853
その他	1,406	1,576	1,897
貸倒引当金	△2,575	△2,179	△2,845
固定資産	112,886	107,703	113,295
有形固定資産	49,734	44,694	50,374
建物及び構築物	23,674	15,809	21,493
土地	22,932	22,108	22,937
その他	3,127	6,776	5,943
無形固定資産	3,258	2,774	2,867
投資その他の資産	59,892	60,234	60,053
投資有価証券	14,932	16,277	12,010
関係会社株式	8,118	—	10,021
長期貸付金及び長期差入保証金	33,997	34,531	35,313
繰延税金資産	4,639	4,050	4,601
その他	1,483	8,607	1,380
投資損失引当金	△908	△806	△973
貸倒引当金	△2,368	△2,426	△2,299
資産合計	185,872	182,954	195,838
(負債の部)			
流動負債	28,632	25,961	27,714
買掛金	12,070	11,500	11,829
短期借入金	646	599	642
未払法人税等	1,834	2,217	2,393
その他	14,082	11,644	12,848
固定負債	8,909	8,474	19,045
転換社債型新株予約権付社債	—	—	10,000
退職給付引当金	878	874	891
役員退職給与引当金	192	192	119
その他	7,838	7,407	8,034
負債合計	37,542	34,436	46,759
(資本の部)			
資本金	31,958	31,958	31,958
資本剰余金(資本準備金)	32,241	31,719	32,241
利益剰余金(利益準備金+その他の剰余金)	86,813	84,897	88,910
利益準備金	1,296	1,296	1,296
任意積立金	78,331	78,331	82,131
中間(当期)未処分利益	7,184	5,268	5,481
その他有価証券評価差額金	△106	△51	337
自己株式	△2,577	△4	△4,369
資本合計	148,330	148,518	149,078
負債及び資本合計	185,872	182,954	195,838

損益計算書(単体)

単位:百万円

	第56期 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)	第56期中間期 (自平成14年4月1日 至平成14年9月30日)	第57期中間期 (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日)
売上高	203,435	96,352	95,267
売上原価	161,739	76,571	75,594
販売費及び一般管理費	34,776	16,188	17,176
営業利益	6,918	3,592	2,495
営業外収益	5,231	2,529	3,059
営業外費用	1,627	718	658
経常利益	10,523	5,403	4,896
特別利益	509	255	225
特別損失	2,239	1,345	461
税引前当期純利益	8,792	4,313	4,660
法人税、住民税及び事業税	4,731	2,326	2,354
法人税等調整額	△993	△477	△461
中間(当期)純利益	5,055	2,464	2,766
前期繰越利益	2,804	2,804	2,714
中間配当額	674	—	—
中間(当期)未処分利益	7,184	5,268	5,481

- 注) 1. 資本の部の表示方法について商法施行規則の改正に従いまして、当期から資本の部の表示方法を変更しています。
 2. 有形固定資産の減価償却累計額当中間期25,042百万円
 3. 一株当り中間純利益76円83銭
 4. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

業態別店舗数

	第56期 (平成15年3月31日現在)	第57期中間期 (平成15年9月30日現在)
スーパーオートバックス:	43	48
Type I	5	6
Type II	38	42
オートバックス	435	427
オートハローズ	16	16
オートバックス走り屋天国セコハン市場	13	21
オートバックス・カーズ	12	14
オートバックス・エクスプレス	1	4
海外(スーパーオートバックス、オートバックス)	10	11
合計	530	541

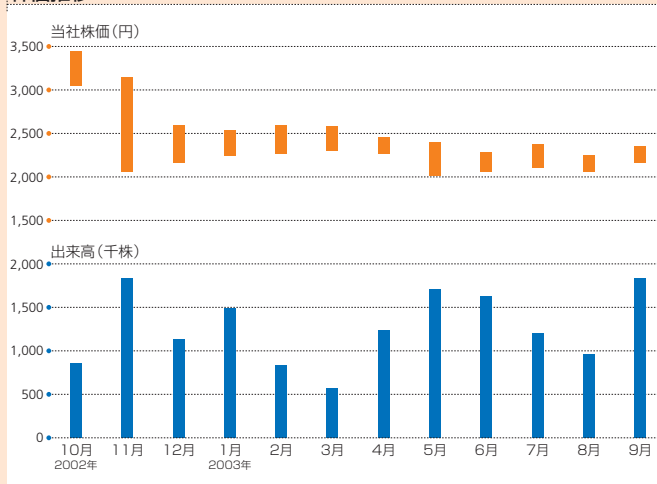
従業員数

	第56期 (平成15年3月31日現在)	第57期中間期 (平成15年9月30日現在)
連結	3,712	3,955
単体	1,144	1,157

株式情報 (2003年9月30日現在)

発行する株式の総数	109,402,300株
発行済株式の総数	37,643,742株
株主数	14,080名
決算日	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日
	利益配当金 3月31日
	中間配当金 9月30日 なお臨時に必要なときは、あらかじめ 公告いたします。
1単元の株式の数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所 ロンドン証券取引所
名義書換代理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
名義書換事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先電話照会先	東京都府中市日鋼町1番10(〒183-8701) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
住所変更等用紙のご請求	0120-175-417
その他のご照会	0120-176-417
名義書換取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

株価推移



住所変更の手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きをお願い致します。株主招集ご通知や配当金などをお届けできなくなります。

ご変更は、住友信託銀行(株)の電話照会先(フリーダイヤル)までご連絡ください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主さまについては、お取引の証券会社で変更手続きを行ってください。

株主優待制度について

『オートボックス』、『スーパーオートボックス』などで、1,000円(消費税を除く)のご利用につき1枚お使いいただける株主優待券(300円割引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている株主の皆さまにお送りしています。

ご参考

- 配布枚数(半期毎): 所有株式数 100株~999株 1,000株~
ご優待券25枚 50枚
- ご優待券は、車両車検時の税金など、車両本体、ガソリン・軽油・灯油、書籍およびCD・DVD・ビデオなどを除くお買物にご利用いただけます。
- ご優待券は現金およびオートボックスの商品券によるお買い上げ時にもご利用いただけます。

※クレジット・ローンによるお買い上げの場合および有効期限(1年間)を超過したものはご利用いただけません。

会社情報

商号	株式会社オートバックスセブン (AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)
創業	1947年2月
資本金	319億5千8百万円
従業員数	1,157名(連結3,955名) (2003年9月30日現在)
主な事業内容	カー用品の卸、小売り、取り付けおよびオートバックスグループ店舗のフランチャイズ展開

役員一覧 50音順

取締役兼執行役員(オフィサー)

代表取締役

住野 公一 CEO

取締役

井手 秀博 エグゼクティブ・オフィサー
法人経営指導担当

住野 耕三 エグゼクティブ・オフィサー
新規事業開発担当

住野 泰士 エグゼクティブ・オフィサー
車販売関連事業担当

経森 康弘 エグゼクティブ・オフィサー
商品戦略推進担当

野上 明 COO
ストアサポートセンター長

松尾 隆 エグゼクティブ・オフィサー
経営戦略、経理、財務、広報、IR、法務担当

横井 英昭 エグゼクティブ・オフィサー
人事政策、組織開発、情報システム担当

湧田 節夫 エグゼクティブ・オフィサー
FC事業戦略担当

監査役 (※印は社外監査役)

小山 勝士 常勤監査役

森野孝太郎 常勤監査役*

吉田 治邦 常勤監査役*

小川 憲司 監査役

主要な事業所	本社 (東京都港区)
	北日本事業部 (仙台市泉区)
	北関東事業部 (千葉県市川市)
	南関東事業部 (千葉県市川市)
	中部事業部 (名古屋市長久区)
	関西事業部 (大阪府吹田市)
	南日本事業部 (福岡市博多区)
	海外事業部 (東京都港区)
	C@RS事業部 (神戸市中央区)
	U-PARTS事業部 (東京都港区)
	東日本ロジスティクスセンター (千葉県市川市)
	西日本ロジスティクスセンター (兵庫県美囊郡)

執行役員(オフィサー)

エグゼクティブ・オフィサー

小平 智志 オートバックス事業開発担当

澤田 和良 車検ビジネス推進、サービス技術開発担当

志野 修市 出退店推進戦略担当

角倉 正親 スーパーオートバックス事業開発担当

武田 健一 マーケティング担当

オペレーティング・オフィサー

江本 吉弘 北関東事業部担当

釜田 尚文 南関東事業部担当

榎 宏介 関西事業部担当

小林喜夫 海外事業部担当

戸出 譲 北日本事業部担当

松村 晃行 南日本事業部担当

深山 義郎 C@RS事業部担当

森本 弘徳 中部事業部担当

森本 眞臣 U-PARTS事業部担当

株主の皆さまへ アンケートのお願い

弊社では株主の皆さまにより充実した情報を適時提供するために、財務広報活動の拡充を図っております。つきましては株主の皆さまのご意見と状況をお伺いしたく、株主通信 Vol.3 でも実施したアンケートを再度実施することといたしました。前回回答をお寄せいただきました株主さまも、お手数ではございますが、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、回答をお寄せいただいた株主さまの中から、抽選で50名様にオートボックスグッズ(カレンダーなど)を進呈いたします。

回答は、株主通信同封のハガキ、もしくはインターネットの専用サイトにてお願いいたします。

○ **ハガキ** 同封のハガキに、アンケートの回答およびお名前、ご住所などを記入の上、ご投函ください。
(2004年1月末日必着)

○ **インターネット** <http://Autobacs.iken.to/297>
上記URLで、アクセスコード入力画面が表示されます。入力欄に、

751 (半角)

と入力し、OKをクリックしていただくと、アンケートの回答サイトになります。回答およびお名前、ご住所などをご記入いただき、最後に送信をクリックしてください。

(サイト設置期間:2004年1月末日まで)



1. 当株主通信についてお伺いいたします。

- どこに興味を持たれましたか? (複数回答可)
ア)ごあいさつ イ)トピック ウ)なぜなにオートボックスグループ エ)カー用品情報
オ)ARTA活動報告 カ)財務報告 キ)株式情報 ク)会社情報
- ご意見・ご感想をお聞かせください。(記述回答)

2. 当株主通信お受取りの株主ご本人さまについてお伺いいたします。

- 弊社グループの店舗に来店されたことはありますか? またどの位の頻度で来店されますか?
ア)月に2回以上 イ)月に1回程度 ウ)半年に1回程度 エ)ほとんどない
オ)来店したことがない
- 弊社グループの店舗のうち、ご利用になるのは、どの業態ですか? (複数回答可)
ア)オートボックス イ)スーパーオートボックス ウ)オートボックス走り屋天国セコハン市場 エ)オートハローズ オ)その他 カ)来店したことがない

3. 現在保有されている弊社株式についてお伺いいたします。

- 弊社株式を何株保有していらっしゃいますか?
ア)1~100株 イ)101~300株 ウ)301~500株 エ)501~1,000株
オ)1,001~3,000株 カ)3,001~5,000株 キ)5,001株以上
- 購入された時期はいつですか? (複数回答可)
ア)1993年12月以前 イ)1994年1月~1997年12月 ウ)1998年1月~1999年9月
エ)1999年10月~2000年12月 オ)2001年1月~2002年9月
カ)2002年10月~現在

4. 今後の弊社株式所有についてお伺いいたします。

- 今後の弊社株式について、方針をお聞かせください。
ア)長期保有 イ)買い増し ウ)値下り後買い増し エ)売却 オ)値上り後売却
- 今後の弊社株式所有方針を決定する判断材料は何ですか? (複数回答可)
ア)株価 イ)配当 ウ)株主優待 エ)業績 オ)経営戦略 カ)事業内容
キ)その他 [詳しくお答えください]

5. 弊社の株主政策についてお伺いいたします。

- 株主優待(割引券)は、ご利用いただいていますか?
ア)いつも使い切る イ)何枚かは使う ウ)使ったことがない
エ)知人・友人に譲っている
- 経営方針、サービス内容、株主優待、配当等に対するご意見・ご要望をお聞かせください。(記述回答)

ご協力ありがとうございました。

オートバックスグループ ホームページのご紹介

弊社の企業情報サイトです。会社案内、IR情報、ニュースリリースなどを閲覧いただけます。

<http://www.autobacs.co.jp/>



IR情報

<http://www.autobacs.co.jp/seven/ir/>

- 財務ハイライト
- IR資料 (月次情報、決算短信、有価証券報告書、アニュアルレポート、株主通信、ファクトブック、決算説明会資料)
- 株価情報
- 株主情報 (優待制度、株主メモ、FAQ)

オートバックスグループの各業態・各店舗や、商品や車検・整備などのご案内については、下記URLより、オートバックスグループのポータルサイトをご参照ください。

<http://www.autobacs.com/>

本誌の表題である「Show Get-Key」を構成するアルファベット一つひとつには、私たちのオートバックスグループ発展のための行動指針と、熱意が込められています。

私たちは、カーライフスタイルの創造者として行動します。

「Show Get-Key」

S olution	(解決)	私たちにお任せください
H ospitality	(おもてなし)	お待ちしております
O riginality	(独創性)	あなたの車を創ります
W oow	(驚嘆)	驚きを差し上げます
G lobalization	(世界のオートバックス)	世界をリードするカーライフスタイルを提案します
E ntertainment	(楽しみ)	ワクワク・ドキドキを感じてください
T hank you	(感謝)	ありがとうございます
K ingdom	(車の王国)	ようこそ夢のモーターランドへ
E xcellent	(卓越)	極めればオートバックス
Yes, we can		



ユースケ・サンタマリア

ちゃんと聞いてくれない。 ちゃんと話してくれない。 あなたの車検は大丈夫？



愛車の車検を受けるとき、
いったいどこを検査したの？どのパーツを交換したの？
って疑問を感じたことはありませんか。
オートバックスの車検なら大丈夫。
見積もり時にお立ち会いただき、納得いくまでとことん説明。
パーツ交換の際もお好みに合わせてお選びいただけます。
もちろん信頼の技術でしっかりメンテナンス。
ぜひ安心いっぱいのオートバックスの車検におまかせください。

とことん説明する オートバックスの

安心 車検



AUTOBACS SEVEN CO., LTD.

株式会社 オートバックスセブン

東京都港区三田3-13-16 三田43MTビル 〒108-8307